

<教育目標>

夢をえがき 一步一步前進する子

「夢をえがく」ことで日々の生活が楽しくなり、様々なことに挑戦し、自らを成長させていくことができます。また、生活していく上でのエネルギーになります。

将来、「～したい」「～になりたい」。そういった「夢」をえがくことによって、それを叶えるためのいくつかの目標が見えてきます。

生徒自身が現在の自分自身を見つめ、自分自身と向き合い、何ができて何ができないのかを把握し、その上で目標を設定する。そして、その目標を達成するためには色々な壁（問題）を乗り越えなければいけないことを知る。それを1つ乗り越え、2つ乗り越え夢に近づいていきます。

夢をえがき、その夢の実現に向け何度でも挑戦し、今よりももう一步、今日よりも明日の自分が一歩でも半歩でも「夢」に近づくよう努力する生徒を目指し、全教職員で支援していきます。

<重点目標>

- 一人一人の可能性の実現を目指す授業の実践に努める。
- 地域と連携し、キャリア教育の充実を図る。



<努力事項>

- ・ 卒業後の生活を想定し、保護者・本人・関係者とともに活動を進める。
- ・ 立派な社会人の育成に向け、責任をもって授業を行う。
- ・ 社会の一員としての役割を担う人材を育成するために、進路開拓に努める。

<具体的方策>

①卒業後の生活（家庭生活、社会生活、職業生活）を念頭に置いた授業編成

- ・ 各授業を軸に「勤労観」「職業観」を育む。また、これらを支える「自立活動」「キャリア教育」の実践にも力を入れる。

②保護者参画のもと、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成

- ・ 年3回の個別懇談の実施。随時、支援センター等地域の福祉に携わる方の参加を依頼し、早い段階からの連携を図る。

③校外での活動の場の設定

- ・ 現場実習やふれあいジョブ等を通して、実社会での労働体験、職業適性の自己理解、職業を中心とした生活サイクルの経験を行う。
- ・ 社会生活を営む上で必要なマナー、ルール、スキルの獲得を目指し、公共交通機関や公共施設の利用を含めた校外学習を実施する。